

名港線 プラットホームと車両の段差と隙間の状況 名古屋港方面行き

凡例	↓ 段差・隙間を縮小する対策をした乗降口(青色に着色した乗降口が対象) 1 乗降口 1 1 2 3 ← ホームに段差縮小のための傾斜がある乗降口 1 1 2 3 ← 目安値を満たさない乗降口 1 1 2 3 ← 目安値を満たす乗降口				・名城線・名港線では、全ての乗降口で段差と隙間が小さくなるよう整備を進めており、各駅の1番乗降口・18番乗降口の整備を令和4年6月17日に完了しました。引き続き、2番から17番乗降口の整備を順次進めています。 ・目安値は、ホームと車両の段差が3cm以下(乗車率100~150%程度)、隙間が7cm以下としております。なお、目安値を満たす乗降口においても、混雑状況などにより段差・隙間の大きさは変動します。
----	--	--	--	--	---

←名古屋港方面行き

駅名	線	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
金山	2番線	△																		△
	1番線	△																		△
日比野	1番線	△																		△
	1番線	△																		△
六番町	1番線	△																		△
	1番線	△																		△
東海通	1番線	△																		△
	1番線	■																		■
港区役所	1番線	△																		△
	1番線	■																		■
築地口	1番線	△																		△
	1番線	■																		■
名古屋港	1番線	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	1番線	△																		△
	1番線	■																		■
	2番線	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	

